

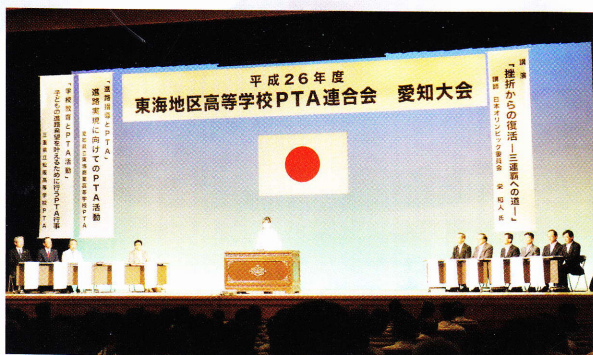
## ◎ 東海地区高等学校PTA連合会 愛知大会に参加して ◎

PTA会計 鈴木 純子

6月20日(金)、サッカーワールドカップで日本中が盛り上がるなか、今年度の「東海地区高等学校PTA連合会愛知大会」が名古屋市公会堂で開かれ参加させて頂きました。

記念講演では、至学館大学レスリング部監督、栄和人氏が「挫折からの復活―三連覇への道」というタイトルでお話されました。教え子である吉田沙保里選手の裏話などを笑いを交えたユーモアあふれるお話や、指導する上で「感謝」という言葉の大切さをいつも伝えているという貴重なお話を聞かせてもらいました。最後にアテネ・北京・ロンドン五輪三連覇の金メダルを見せていただき、とても感慨深い思い出となりました。

その後、愛知県立東海商業高等学校が「進路実現に向けてのPTA活動」、三重県立松坂高等学校が「子どもの進路を叶えるために行うPTA行事」というテーマで発表されました。どちらの学校も、それぞれの特色を生かし学校の協力や保護者の理解など、様々な意見の中で子どものために何ができるかを考え、PTA活動を進めていく大切さを実感しました。今後は会員の皆さんが参加したくなるようなPTA活動を目指していけるように推進していきたいと思えます。



第3学年副委員長 虫賀 匡子

6月20日(金)、連日の真夏日の中、新緑に囲まれた名古屋市公会堂において「東海地区高等学校PTA連合会愛知大会」に参加させて頂きました。

記念講演は、吉田沙保里、伊調千春、伊調馨らのオリンピックメダリストを輩出している栄和人様の「挫折からの復活―三連覇への道」でした。コーチとして「純粹にその子のためにどうすればいいか?それだけを考えている」と言う言葉に対し「誰にもないしっつこさ、それが勝ちにつながり感謝している」と吉田選手は言われたそうです。『何かを成し遂げようとする時に神様が心の強さを試すためにやって来る試練』について、また、『始めた時の目標、目的を忘れずに諦めなければ出来る』と言う言葉を重く語られました。裏話として、お菓子の好きだった吉田選手の食生活を見直されたそうです。そうすることで、彼女の体力や筋力はみるみるアップしました。どの話もとても説得力がありました。講演の最後に「吉田沙保里が後ろに來ています。」と冗談で話された後に、実際に吉田選手が獲得した金メダル3個もサプライズで見せて頂きました。

各校の実践発表として、愛知県立東海商業高校は、進路実現に向けてのPTA活動を紹介されました。PTAとして学校の行事に参加し、学校と協力して子どもの進路実現に向けて取り組まれています。

三重県立松坂高等学校は、子どもの進路希望を叶えるために行うPTA行事を紹介されました。PTA活動では、保護者が子どもの進路を叶えるためのサポート力を身につけることが大切であると考え、学校と協力して活動を進めていました。

「〇〇のために必要な事は何か?」を考えサポートしていく力を高めていくこと。これは、私たちの周りのさまざまな事に置き換えて考えることが出来ます。これからのPTA活動にも反映させることができるように努めたいと思いました。東海大会に参加させて頂きましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

## ◎ 校内球技大会 ◎

5月28日(水)に球技大会が行われました。

今回の球技大会はバレーボールのみでチーム対抗とし、本校グラウンドに14面のバレーボールコートを作り実施されました。

朝から雲ひとつない五月晴れの中で行われた球技大会は、初めに職員チームと女子バレー部のオープニングゲームを行い、その後、学年別男女別にリーグ戦が行われ、午後には、決勝戦と3位決定戦が行われました。

また、全試合の最後には、3年生男子の優勝チームと教員チームの試合を行い、全校生徒が見守る中、今年は職員チームが昨年のリベンジを果たし勝利しました。

前日の準備から当日の審判や運営、球技大会後の後片付けなどもすべて生徒の手により行われるなど、本当に素晴らしい球技大会でした。

試合結果は以下の通りです

	優 勝	準優勝
1年生 男子	1-1 B	1-4 A
1年生 女子	1-5 A	1-3 B
2年生 男子	2-2 A	2-5 C
2年生 女子	2-4 D	2-1 B
3年生 男子	3-2 B	3-1 A
3年生 女子	3-4 B	3-1 A

